

海外 M&A しても効果が出ないのには
理由があった！

「日本だけ・・・」の会社を脱して プロセスガバナンスで海外売上を 2 倍に成長させる！

現地適用化戦略ワークショップのご案内

拝啓 時下ますますのご盛栄のこととお喜び申し上げます。

日本市場の将来性企業にとって海外展開の重要性はますます大きくなっていますが、一方で実際に進出している企業からこんな声を多く聞いています。

- 海外 M&A、JV、アライアンスの効果を出せず、有効な手を打てない
- 現地が本社の言うことを聞いてくれない
- 自社のプロセスの強みがなかなか現地に生かされない
- 英語が話せる人材を配置したが、交渉結果が芳しくない
- 現地に行かせたい人間は、こちらでも手放せない人材だ

これらの問題意識の解決の一助となるために、ICMG グループの一員である M&IT 株式会社は、これまでの経験と知見に基づき、海外売上比率を激的に引き上げるために、現地でよく起きている失敗を明らかにし、日本企業による海外 M&A や JV、アライアンスで何を強化すべきかを明らかにするためのマネジメント・ワークショップを開催します。

キーワードは、一言でいうと「現地適用化戦略」です。ワークショップでお伝えする内容を、少しだけご紹介いたします。

- ただの見える化ではダメだった！業務プロセスと IT の知的財産化とは？
- 海外にはない日本企業が持つ強みを埋め込むためには？
- 欧米企業とは違う、日本企業ならではの現地を知ったプロセスガバナンスのやり方とは？

既に投資をした企業はもちろんのこと、これから投資を考えている企業の皆様にも有効なヒントが含まれていると思われます。是非、事業責任者の皆様方にご参加いただければ幸いです。

敬具

平成 26 年 11 月 7 日

M&IT 株式会社
代表取締役社長 田村 英二

【ワークショップご案内】

主催： M&IT 株式会社
 共催： 株式会社 ICMG
 開催日： 2014 年 12 月 10 日（水） 15：00～18：00（受付開始 14：30～）
 定員： 15 名様、定員になり次第締め切ります
 参加費： 20,000 円（税込）
 会場： 株式会社 ICMG 内カンファレンスルーム
 住所： 千代田区内幸町 1-1-7 NBF 日比谷ビル 21F

【登壇者プロフィール】

村井 勝



1962 年米国 IBM 入社。日本 IBM 転籍後、わが国初のオンラインバンキング端末製作、システム構築に携わる。1991 年、情報通信統括本部長を経て日本 IBM を退社。コンパック日本法人の代表取締役社長に就任。同社会長を経て 1998 年同社退社。コンパック退社後、数多くのベンチャー企業を育成。現在、一般社団法人 TXアントレプレナー最高顧問。過去に、外資系情報産業研究会会長、在日米国商工会議所理事、General Atlantic Partners 特別顧問などを歴任。

田村 英二



M&IT 株式会社代表取締役社長。クーパース・アンド・ライブランドのマネジメント・コンサルティング部門にて、業務/IT プロジェクト担当パートナーとして広範囲のプロジェクトを担当。1995 年に AT&T のグローバル・コンサルティング・ビジネス立ち上げに参画し、1998 年、ビジネス戦略と IT 技術を統合したコンサルティング・サービスを現実化するためにシナジェティック・コンサルティングを設立。2009 年、業務改革/IT プロジェクトの成功確度を高める手法を体系化することを意図し、一般社団法人ビジネスプロセス・アーキテクト協会を各分野の専門家と共に設立。2014 年、実践と理論化の両面を推進するため M&IT の設立に参画。慶應義塾大学大学院工学研究科修了。工学博士。

大庭 史裕



株式会社 ICMG 取締役コンサルティング事業部代表。マッキンゼー・アンド・カンパニーにおいてエレクトロニクス・通信・ヘルスケア・自動車・出版等多様な業界での成長戦略・企業変革・新規事業の立案と実行支援に従事。2005 年に ICMG に参画。企業の価値源泉である人材力・関係力・組織力等を戦略に有機的につなげ持続成長を実現する変革プログラムを多数開発。国内外の企業の成長戦略策定・企業変革・企業統合・イノベーション・事業開発等において、顧客と一体化して変革を実現するプロジェクトを主導。企業をホリスティックに捉え事業戦略と組織戦略両面の視点から持続成果力を高めることを専門としている。慶應義塾大学大学院理工学研究科修士課程修了。INSEAD 経営大学院 (MBA) 修了。